

第6回名立区地域協議会 次第

日時：令和元年9月25日（水）午後6時30分から
場所：名立区総合事務所 2階第2会議室

1 開 会

2 協議事項

（1）令和元年度視察研修について

（2）地域活動支援事業変更承認について

3 その他事項

令和元年度第7回地域協議会の開催予定

・令和元年 月 日（ ）午後 時 分から

4 閉 会

事前提出のあった令和元年度名立区地域協議会視察研修希望先一覧

No.	希望研修先	理 由
1	上越体操場 (大潟区体操アリーナ)	・実際の建物を見てみたい。 ・大潟区地域協議会との対話をセットで。
2	謙信公武道館 (県立武道館)	・完成間近になった大型施設を見たい。
3	ゆきだるま温泉「雪の湯」、細野集落 (安塚区)	・休止、集約となる施設の状況を知る。 ・集落がNPO法人として交流宿泊施設等を運営する「細野集落」で現状と課題を聞く。
4	出雲崎町	名立区と人口やまちのづくりが似ているので、人口減少対策など参考になるかと思う。 名立の白山団地と出雲崎町のでまり団地、小学校での取り組み、道の駅などの比較をしたい。
5	十日町市	移住、定住について話を聞きたいです。
6	十日町市(池谷集落)	(移住・定住促進) ・名立区と同じような地区で、若者が定住しやすい環境づくりを考えていかなければならない。 ・ろばた館の今後のあり方について考える上でも、参考になると思われる。

第4号様式（第14条関係）

上越市地域活動支援事業費補助金事業変更承認申請書

令和元年9月12日

(宛先) 上越市長

(申請者)

所在地

名称

代表者氏名

不動産創る会

次のとおり事業に係る変更の承認を申請します。

事業の名称	ふるさと不動地区・水源の森歴史探究事業
変更の内容	炭焼き窯遺構の調査に重機の借り上げが必要になったことなどにより、補助金交付決定額 608,000 円の内訳を変更させていただきたい。
変更の理由	変更の理由や詳細は別紙のとおりです。

備考 変更の内容又は理由について補足する必要があるときは、説明を補足する書類を添付して提出すること。



総務・地域
振興グループ

■令和元年度 事業の変更内容

1) 事業内容の変更

項目	当初申請		
期間	令和元年6月～令和2年2月		
実施スケジュール	6月	事業説明会・現地学習会①	研究者2人
	7月	炭焼き窯遺構の調査①	
	8月	歴史資料の整理① 関係住民への聞き取り・資料整理 炭焼き窯遺構の調査②	研究者2人
	10月	歴史資料の整理② 関係住民への聞き取り・資料整理 炭焼き窯遺構の調査③	研究者2人
	11月	現地学習会②	研究者2人
	1月	歴史資料の整理③ 資料のまとめ	研究者2人
	2月	まとめの会 開催状況報告 歴史資料等の整理状況の報告	研究者2人
			研究者

変更内容・事由
6月に計画した現地学習会等が荒天のため延期になり、8月開催事業と同日に行ったため、研究者の謝金・旅費を変更したい。
10月に開催予定の炭焼き窯の遺構調査③で、現地の整地や石など異物の除去のために、小型の重機（油圧ショベル0.1m ³ 級）を借り上げたい。このため、重機の借り上げ・運搬・運転の謝金を新規に追加したい。
炭焼き窯の遺構調査で使用するブルーシートや箕を購入したく、消耗品費を増額したい。

変更後		
令和元年6月～令和2年2月		
6/16(日)	事業説明会・現地学習会①	荒天のため延期
7/14(日)	炭焼き窯遺構の調査①	
8/10(土)	事業説明会・現地学習会① 炭焼き窯遺構の調査②	研究者2人
8/11(日)	歴史資料の整理① 関係住民への聞き取り・資料整理	研究者1人
10/11(金)	炭焼き窯遺構の調査③	重機の借り上げ
10/27(日)	歴史資料の整理② 関係住民への聞き取り・資料整理	研究者2人
11/17(日)	現地学習会②	研究者2人
1/19(日)	歴史資料の整理③ 資料のまとめ	研究者2人
2/22(土)	まとめの会 開催状況報告 歴史資料等の整理状況の報告	研究者2人
		研究者 12人

2) 事業費の変更

項目	当初申請	
	金額	説明
1 研究者等謝金	240,000	研究者謝金 20,000円/日×3人= 60,000円 研究者謝金 10,000円/日×9人= 90,000円 研究者送迎自動車運転謝金 5,000円×1回×6人(台)= 30,000円 学習会参加者送迎自動車運転謝金 5,000円×2回×6人(台)= 60,000円
2 研究者等交通費	241,464	研究者(東京都町田市・調布市等往復) 19,000円×12回= 228,000円 研究者送迎自動車借上げ料 36km×往復×22円×6台= 9,504円 学習会参加者送迎自動車借上げ料 15km×往復×22円×6台= 3,960円
3 研究者宿泊費	36,000	9,000円×2人×2回(うみてらす名立)
4 資料コピー代等	71,000	学習会案内チラシ 10円×1000枚×2回= 20,000円 チラシ新聞折り込み料 3,000円×2回= 6,000円 資料等 10円×10頁×30部×3回= 9,000円 報告書 10円×30頁×120部= 36,000円
5 消耗品費	5,536	プリンターインクカートリッジ、ブルーシート、ファイル、マジックインキなど
6 保険代	4,000	学習会保険代 2,000円×2回=
7 その他	10,000	講師昼食など
合計	608,000	(うち補助金額: 598,000円)

金額	変更後	
	金額	説明
275,000 (35,000)		研究者謝金 20,000円/日×3人= 60,000円 研究者謝金 10,000円/日×8人= 80,000円 研究者送迎自動車運転謝金 5,000円×1回×6人(台)= 30,000円 学習会参加者送迎自動車運転謝金 5,000円×2回×6人(台)= 60,000円 重機(0.1m3級程度)借上げ謝金 1回1日 20,000円 重機運搬謝金 1回1日 20,000円 重機運転謝金 1回1日 5,000円
203,464 (△38,000)		研究者(東京都町田市・調布市等往復) 19,000円×10回= 190,000円 研究者送迎自動車借上げ料 36km×往復×22円×6台= 9,504円 学習会参加者送迎自動車借上げ料 15km×往復×22円×6台= 3,960円
36,000		9,000円×2人×2回(うみてらす名立)
71,000		学習会案内チラシ 10円×1000枚×2回= 20,000円 チラシ新聞折り込み料 3,000円×2回= 6,000円 資料等 10円×10頁×30部×3回= 9,000円 報告書 10円×30頁×120部= 36,000円
8,536 (3,000)		プリンターインクカートリッジ、ブルーシート、ファイル、マジックインキ、ブルーシート、箕など
4,000		学習会保険代 2,000円×2回=
10,000		講師昼食など
608,000		(うち補助金額: 598,000円)

《説明》 ※研究者の謝金について

教授級: 20,000円、講師・助教級: 10,000円

※通常、市が定めた大学教授級講師謝金の額「15,000円」については、2時間程度の講演会等に適用される額とされている。当事業のように、2時間以上または1日拘束して協力いただく場合は、その単価を2倍にしてもよいとされている。しかし、招聘する研究者との協議で、1日: 20,000円(10,000円)と当初から定めているもので、市の基準額を下回っているものと解す。